

様式第 1 号（第 2 条関係）

		受付番号		抽選番号	

村 営 住 宅 入 居 申 込 書

五木村長 様

年 月 日

1 申 込 者

現住所

市 町

郡 村

番地

氏 名

年 月 日 生

2 入居申込者世帯員明細（別居中の扶養親族を含む）

氏 名	生年月日	続柄	同居・別居の別	扶養・非扶養の別	職業	勤 務 先
		本人				

3 所得状況（※印欄は、記入しない。）

所得者 氏 名	所得の 種 類	前 年 の 総 収 入 額 A	公営住宅施行令第 1 条第 3 号 に規定する控除額		月 平 均 収 入 額	
			老人・障害者・老年 者・寡婦の別	※ 金 額 B	$\frac{A-B}{12}$ C	
		円	円	円	円	
計						
※所得額の合計		※公営住宅施行令第 1 条第 3 号 に規定する控除額		※ 月収入額	※ 収入基準額	
円		円		円	円	

上記の申込者は、当社（所課）に勤務している者であり、当該者に係る記載事項は事実
に相違ありません。

年 月 日

所在地

名 称

電話（ ） －

代表者氏名

印

4 住宅に困っている事情

左欄は該当番号を○で囲み、右欄は該当文字を○で囲み、理由を具体的に記入してください。

(1) 住宅以外の建物又は場所に居住している。	転用住宅（倉庫、物置、その他）に住んでいる。
(2) 危険又は有害な状態にある住宅に居住している。	年ぐらい経過した老朽建物で危険である。 (その他)
(3) 同居又は間借りしているが、生活上著しく不便をうけている。	世帯人と同居室を間借り 炊事場=共同・共同でない 便所=共同・共同でない
(4) 住宅がないため、家族と別居している。	理由：
(5) 立退きの要求を受け、立退き先がない。	理由：
(6) 勤務先から著しく遠隔の地に居住している。	通勤に要する時間が片道 時間 分
(7) 現在不当な家賃のため、生活困難である。	毎月の家賃額 円 収入との割合
(8) 世帯構成の関係から衛生上又は風致上不 適当な住宅に居住している。	理由：
(9) 現在居住している住宅の畳数が 1 人あたり 3 枚以下である。	畳 畳 畳の 室 (板間は畳数になおしてください。)
(10) その他	

記 載 上 の 注 意

- 1 入居申込書に虚偽の記載があったときは、理由のいかんにかかわらず失格となりますので、正しく記入してください。
- 2 「3 所得者状況」は、次の方法により記載してください。
 - (1) 給与所得者の場合
「年間総収入額」欄には、前年の所得税法にいう所得総額を記入してください。
 - (2) 事業所得者の場合
年間所得額を「年間総収入額」欄に記入してください。
- 3 住宅の入居申し込み収入基準について
公営住宅は、月収入額が公営住宅法施行令（昭和26年政令第240号。以下「令」という。）第9条に規定する基準の収入であること。
- 4 その他（添付書類等）
 - (1) 給与所得者は「前年の源泉徴収票（写）」（代表者の証明印があること。）を添付してください。
 - (2) その他の所得者は、市町村発行の「住民税課税台帳記載事項証明書」を添付してください。
 - (3) 申請書の家族構成について証明できる住民票謄本、健康保険証などを持参してください。ただし、障害者については証明できる書類の写しを、また寡婦については、市町村長発行の証明書を添付してください。

申込者の現住所の略図

目印になる建物等を記載し、できるだけ詳細に記入してください。